

臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある患者様で、診療情報等を研究に利用されることを希望されない場合は、以下の連絡先にお問い合わせください。同意されない場合でも、診療上の不利益が生じることは一切ありません。

■ 研究の対象期間と対象となる患者様

2008年2月1日～2025年12月31日に当院でALアミロイドーシスと診断された方

■ 研究課題名

「ALアミロイドーシス患者における予後因子推定に関する研究」

■ 当院の研究責任者(所属)

血液腫瘍内科 末永 孝生

■ 本研究の目的・方法・研究実施期間

ALアミロイドーシスはM蛋白の軽鎖が沈着してアミロイド変性し臓器障害を惹起する難治性の疾患であります。予後推定因子として、代表的なものに①障害臓器数が多いほど予後不良、②心臓アミロイドーシス病変を有する症例で予後不良、③化学療法に伴う血液学的奏功が不良の場合で予後不良などがあります。最近、いくつかの論文で染色体異常に伴い予後不良が予測できることが指摘されています。この研究において、我々は患者様の治療経過や背景因子に加えて、免疫学的特性にも着目しました。免疫学的特性を踏まえた予後解析は正確な予後因子の推定のために重要と考えられます。予後因子解析や免疫学的特性との関連を明らかにする目的で、電子カルテに記載のある診療記録、検査データなどを利用します。

研究実施期間：2022年2月15日～2025年12月31日

■ 研究に用いる試料・情報の項目

<情報>

年齢、性別、身長、体重、病歴、検査データ、診療録、副作用等の発生状況、画像所見、化学療法実施経過、併用薬剤詳細、有害事象発現時期、死亡時期、最終生存確認時期、病勢進行期、致命的イベント発生率、免疫学的特性、等のカルテデータ

<試料>

実臨床で採取された骨髄・末梢血やさまざま生検組織 等

■ 他の研究機関への提供・提供方法

他の研究機関への試料・情報の提供はありません。

■ 個人情報の取扱い

研究で利用する情報から、患者様を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

■ お問い合わせ先

担当者（所属）： 津島隆史（血液腫瘍内科）

電話： 04-7092-2211(代)